

「所長より」 最近の研究所の出来事をお知らせします

平成31年1月11日(金)「強みカード」所内研修会を開催しました。

あなたの強みは何ですか。

本所の教育相談センターの学級経営研究ユニットでは、ポジティブ心理学の一環として「レジリエンス」について研究しています。「レジリエンス」とは、「金属の板などが曲げられても元にもどろうとする力」の意味で、もうすこし柔らかい言い方をすると、「心の回復力」「(竹のように)しなやかに修復する力」を指します。

その「レジリエンス」をつくる、7つのテクニックの1つに、「自分の強みをいかす」というものがあります。そこで、所員の有志があつまり、「あなたの強みは何でしょう?『強みカード』研修会」を実施しました。

所内研修会では、相談センター所員がレジリエンスや強みカードについて一通り説明した後、グループに分かれ、強みカードを使ってメンバーの強みを見つけ合いました。



折れない心(レジリエンス)を育てる！！

24のカードの中から、自分の強みを見つけよう

知恵	創造性	好奇心	向学心	柔軟性	大局観
勇気	誠実さ	勇敢さ	忍耐力	熱意	
人間性	親切心	愛情	対人関係力		
正義	公平さ	リーダーシップ	チームワーク		
節制	寛容さ	謙虚さ	思慮深さ	自制心	
超越性	審美眼	感謝	希望	ユーモア	スピリチュアリティ



その後、グループメンバーから言われた「強み」に○をつけ、その中から自分がこれだと思う強みを1つ選んで、具体的に自分の強みがどんなふうになんかの役に立つかを考えて、紹介し合いました。

「自分の強みを自覚し、積極的に生かす」⇒「エネルギーがどンドンわき起こる」と「ストレスを感じにくくなる」というプラスのスパイラルにつながっていくことができると考えています。”自分も周りの人もハッピーに！！”

今後、学校でも使っていただけるように、このカードについて実践研究を進めていきます。

〈参加した所員の声より〉 カードを使って、グループメンバーの強みを見つけようというのは、人間関係づくりにおいて、とても効果的だと感じた。メンバーの強みだと感じるカードを1枚だけ選び、そのカードを選んだ理由を添えて話すことで、相手に伝わりやすいと思う。また、自分のこともグループメンバーから教えてもらうことで、他の人が感じている自分の強みを知ることができ、新たな発見にもつながった。

～寒中お見舞い申し上げます。インフルエンザ等も流行し、ますます体調管理が必要になってくる時期です。冬だからこそ味わえる何かを見つけ、身体と心のリフレッシュをしましょう～

新年明けましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしく願いいたします。

牧野 行浩



2019年が始まりました。今年の仕事始め式で、次のようなことを所員に話しました。

今年の干支は己亥（つちのとい）です。次の己亥まで60年かかることを思うと、新年にかける思いもより新鮮さが増してくるようです。

昨年暮れに「組織が人を動かすのではなく人が組織を動かす」と話しましたが、そのためにも所員一人一人の意識と行動のベクトルの結集が必要です。組織の改革についても何のための改革なのか、所員みんなが念頭に置いて仕事しなければよい成果は求められません。現在、教員研修において、急激な情報機能の発達によりサテライト研修はじめ様々な形で通信研修が始められており、今後はそのネットワーク化が進展することで、教員は好きな時に好きなだけ受講できるようになるでしょう。そうなれば当然教育総合研究所としての存在価値が問われるのは必至です。単に研修を提供するだけでなく、研修の先にあるものを常に意識して研修プログラムを開発していく必要があります。また研究業務においても、成果をこれまで以上に積極的に発信し、学校現場の指導改善につなげる提案型の研究にしていかなければいけません。このように学校現場から見て、研究所の行っていることが明確に分かり、いつも頼りにしてもらえそうな存在になりたいと思います。そういう意味で昨年度から業務の「見える化」を意識して取り組んできました。

本年は、教育総合研究所として特に次のことを意識して取り組んでいきたいと思っています。

- ① 研究所はすべての教員の自己研修のコントロールタワーになること
- ② 教員の養成・採用・研修を通じた体系的総合的な支援を行うため、大学等関係機関との連携を進めていくこと
- ③ 提案型の教科研究をより進めていくこと
- ④ OJT研修のコンテンツを整えていくこと

この一年、所員皆さん一人一人の力を結集して教育総合研究所をさらに前進させたいと思いますので、どうぞよろしく願いします。



～新しい年を迎え、身も心も新たな気持ちで、スタートしました。この3ヶ月は、学年を締めくくる意味でも大切な時期となりますね。

寒さもますます身に染みる季節ですが、体調管理に気をつけ、皆様一人一人にとって、ベストな仕上げの時期となりますように。

今年もどうぞよろしく願いいたします。

福井県教育総合研究所 所員一同～

「所長より」 最近の研究所の出来事をお知らせします

今回は、「放課後セッション」の様子をお知らせします。

日 時：平成30年11月9日（金）17:30～19:00

会 場：福井県教育センター

参加者：県内小・中・高・特別支援教諭（5名）

助言者：福井大学 保健管理センター 講師 栗田智未 氏

「放課後セッション」は、どなたでも気軽に参加できる雰囲気大切にしながら、それぞれの学校で困っている児童生徒の問題行動等にかかわる諸事例を、参加者みんなと一緒に考えたり、教育・臨床心理に造詣の深いスーパーバイザーよりアドバイスをもらったりする会です。

今回は5名の先生方の参加をいただき、小学校（学級経営と個別支援）、中学校（不登校の具体的な支援の在り方）の2つの事例について検討をしました。

◇参加者の声◇

ピアサポートや教育相談の研修を受けて自分なりに分かってやっているつもりだったけど、実践の場でできていないことがたくさんあることに気づかされ、参加してとても勉強になりました。＜中学校教諭＞

子ども自身の問題、学級経営の問題などを自分で話し、意見をもらえることで、課題を整理することができました。子どもの状態を分析することで、今の教員の関わりで続けるべき点、変更すべき点などについても考えることができました。＜小学校教諭＞



初めて参加しました。皆さんの意見交換の様子から、自分が今悩んでいる課題の解決に生かせる新たな視点をたくさんもらえました。次回は、自分の事例も出してみたいです。＜小学校教諭＞

今年度の放課後セッション(事例相談会)は、あと3回実施されます。希望される方がいらっしゃいましたら、教育総合研究所のHPの教育相談のコーナーより申し込んでください。

第7回12月7日（金） 第8回1月18日（金） 第9回2月8日（金）

【これからの研修開催予定（～12月初旬まで）】

11月15,22,29日(木) クロスセッション(初・2・3)

30日(金) 新任教頭研修

12月 4日(火) 教科別研修Ⅲ 高等学校理科地学(午前)、化学(午後)

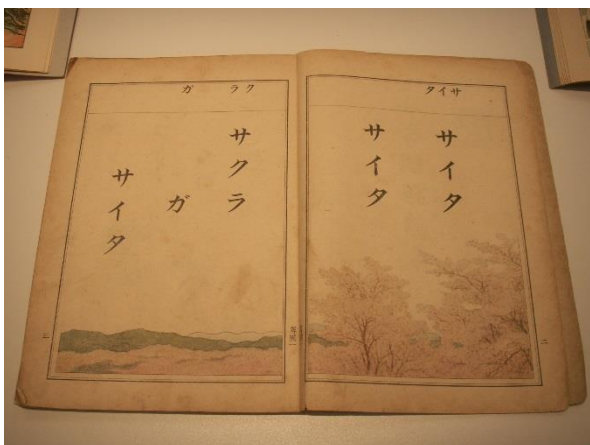
～秋も深まり、朝晩もめっきり冷え込んできたものの、紅葉する山々にホッとさせる季節です。

今年もあと1か月半余りとなりました。体調管理にお気を付けください～

「所長より」 最近の研究所の出来事をお知らせします

平成 30 年 9 月 28 日（金）、本所の教育博物館に天皇、皇后両陛下がご訪問されました。本所の博物館内企画展や常設展示の昭和期の教科書などをご覧になりました。

特に、教科書展示室では、両陛下がご使用になられた教科書をなつかしくお手にとられて、大変興味深くご覧いただきました。



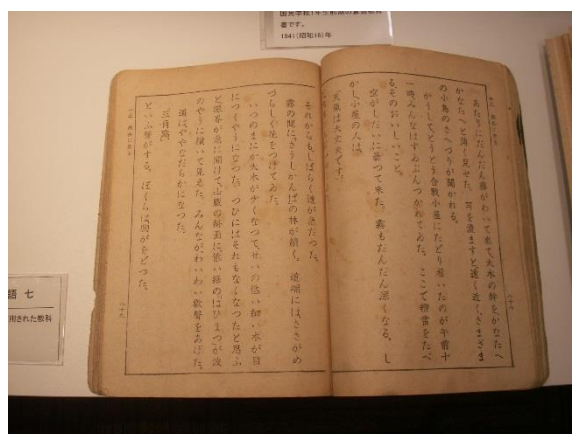
「小学国語読本 巻一」 尋常小学校 1 年
書き出しを覚えておられました。



「ヨミカタ 一」 国民学校 1 年
こちらも中身を覚えておられました。



「新訂尋常小学唱歌 第一学年用 日の丸の歌」
「ウタノホン 一 日の丸」
歌詞の違いを興味深く語っておられました。



「初等科国語七」

天皇陛下は、この教科書で雲の種類について理解されたそうです。また、「燕岳に登る」の単元の内容を印象深く覚えておられ、とてもなつかしんでおられました。

～今回の天皇、皇后両陛下のご訪問で私たち所員も身の引き締まる思いです。

いよいよ 10 月です。実りの秋です。

皆様にとってもそれぞれの実りの秋になりますように～

「所長より」最近の研究所の出来事をお知らせします 〈夏休みスペシャル〉

～今回は、サイエンスラボでの出来事とピア・サポート自主研修の内容をお知らせします～

小型人工衛星開発講座 ～缶サット教室～

日時：平成30年7月21日（土）9:00～16:30

7月22日（日）8:00～16:00

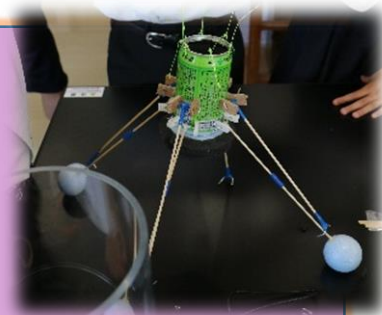
7月28日（土）8:00～15:00

会場：サイエンスラボ

参加者：県内中学生・高校生（24名）

講師：東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻 教授 中須賀 真一 氏

福井工業大学電気電子工学科 教授 中城 智之 氏



中城教授と大学院生（東京大、中須賀・船瀬研究室）の講義を受けたあと、各チームに分かれ缶サット（空き缶サイズの模擬人工衛星）の製作を始めました。今回の実習では、ヘリウムガスを用いた気球で上空50mまで運び、落下にかかる時間や着陸時の機体の状態などを競いました。参加者は試行錯誤を繰り返し、仲間と楽しみながら、技術力・創造力を養っていました。



超小型人工衛星開発講座～親子宇宙教室～

日時：平成30年7月22日（日）14:00～16:00

会場：サイエンスラボ

参加者：小学校高学年30名とその保護者

講師：JAXA宇宙教育センター 俣野 綾子 氏

JAXA宇宙教育センターより講師を招き、「親子で学ぶ宇宙教室」を開催しました。飛行機の翼の断面のような形状をした空力翼艇を製作しました。完成した空力翼艇をゴムの力で飛ばすと、参加した児童は、ホバークラフトのように少し浮き上がりながら床を滑るように進む様子に驚いていました。製作の過程で「どうしておもりを付けるのか」「おもりをどこに付けるのが良いか」という講師の問いに対し、児童は興味深く考えていました。

ミニアプローチ♪ 「本所のホームページの活用方法」

- ・「家庭教育応援サイト」でコラムを視聴し、親子で考える。
- ・「ブックレビュー」で、オススメの旬の本をキャッチし、本所で借りて読む。
- ・「通信型研修講座」サイトにログインし、研修動画やラジオ活用を視聴する。

～時間を有効にご活用下さい～

ピア・サポート研修～学校サポートプログラム自主研修会～

日 時：平成 30 年 8 月 3 日（金）9:00～16:00

会 場：福井県教育総合研究所 大講義室

参加者：県内小中高教諭・適応指導教室職員・こども園教諭・SC・SSW 等（42 名）

講 師：日本ピア・サポート学会事務局長 菱田 準子 氏

今年度より特別研究員をお願いしている菱田先生を講師として迎え、来るべき人生 100 年時代に向けて、「支えあう社会を築く大切さ」を、受講者全員で考えました。

午前中は、カナダの小学校のピア・サポート活動についての動画を見ながら、ピア・サポートの歴史や意義を学びました。そして、受講者全員でピア・サポートトレーニングを実際にやってみました。ペアで説明を聞きながら、スクリーンに映し出されたイラストを紙に描くコミュニケーションスキルトレーニングを行い、「一方通行のコミュニケーションは問題が起こって当たり前だ」ということを理解することができました。



午後は、問題解決スキルを養成するために、「私の困りごとリスト」という演習を行い、「課題解決の 5 つのステップ」について学びました。菱田先生は、ピア・サポートの授業風景を動画で見せていただきながら説明してくださいましたので、「ピア・サポートの教育的効果と可能性」について学びが深まりました。最後に、2 学期にやってみたいピア・サポート活動を各自がプランニングし、発表し合いました。



〈受講者の声より〉

・演習を通じて、人と関わることの大切さ、人から受け入れてもらえることの安心を感じることができました。ピア・サポートの視点を活かして授業をしたいと思いました。

（中学校教師）

・「話に耳を傾けることで子どもの体験が豊かになる」とお聞きして、「なるほどなあ」と嬉しくなりました。話を聞いてもらうことでも、人として成長していくことができるってステキですね。私も、今日、グループの皆さんに話を聞いていただき、新しい視点で自分のことを見つめることができました。（スクールカウンセラー）



【これからの研修開催予定（～9月中旬まで）】

9月11日（火） 臨時任用講師研修、中学校英語科研修講座（遠隔受信）

13日（木） RST（リーディングスキルテスト）団体受験

～今年の夏は例年にない猛暑や台風、大変でしたね。いよいよ新学期が始まります。休み明けは大人でも「ちょっとした勇気」が必要です。そんな勇気をサポートできるようになりたいですね。～

「所長より」 最近の研究所の出来事をお知らせします

平成 30 年 7 月 30 日(月) 道徳教育研修を開催しました

文部科学省初等中等教育局教科調査官 澤田 浩一 氏を講師に迎え、「今、求められる道徳教育～教科化にむけた道徳教育の充実を目指して～」という演題で、中学校の道徳教育推進教師を中心に研修を行いました。澤田調査官からは、午前の講義において、道徳教育改訂の背景や道徳性における発達の段階、特質、内容項目、全体計画など幅広い視点で教えていただきました。また、午後では、道徳教育の充実を図るために授業改善のポイントや評価、組織的な推進についても御講義いただきました。

午後の講義部分は、視聴希望のあった 6 中学校や嶺南教育事務所等に遠隔で LIVE 配信しました。受講した中学校からは、「会場まで遠いと時間の関係でなかなか足が向かないことも多いが、とても貴重なお話を聞けて良かった。臨場感を味わえました」といった声も寄せられました。



〈受講者の声〉

「考え、議論する道徳」と聞くと身構えてしまいましたが、「議論する」ということが「共に語り合う」ということ、また、友達の意見を聞いて、その意見を鏡にして自分の意見を見つめ直すことができるということが、「議論する道徳」だと感じました。これからは、自分の考えを深めていく道徳の授業をしたいです。



中学生の脳の発達段階を踏まえた道徳の時間の持ち方や評価のあり方、考えの広げ方、深め方など、とても分かりやすかったです。この教科化をきっかけに、生徒一人ひとりを全教員(より多くの教員)で見守ることにつなげようという前向きな考え方を学校に帰って伝えたいと思います。

調査官の知識が豊富で、情報を多面的に伝達してくださり、とても興味深かったです。グループ協議では、他校との情報交換ができ、ありがたかったです。道徳教育アーカイブを全教員で視聴して、授業づくりの参考にしたいと思いました。



【これからの研修・セミナー開催予定(～8月末まで)】

- 8月 13, 14 日(月・火) ふくい教員志望者セミナー(13 日午後:本所、14 日午後:プラザ万象)
- 17 日(金) 教科別研修Ⅲ 小学校算数科「やりたい、考えたい、伝えたいを目指す、新領域データの活用」
- 20 日(月) 2年目研修(中高)「主体的・対話的で深い学びの指導と評価」
- 21 日(火) 教科別研修Ⅲ 中学校数学科「思考力、表現力を育てる! 数学的活動の充実を目指した授業づくり」、臨時任用講師研修
- 22 日(水) 教員免許状更新講習(～24日)、教科別研修Ⅱ 小・中学校国語科書写
- 27 日(月) 教科別研修Ⅱ 小学校図画工作科「主体的・創造的な学びを促す表現や鑑賞指導のあり方」
- 28 日(火) 幼稚園・認定子ども園新規採用研修、教科別研修Ⅲ 高等学校物理

～暑中お見舞い申し上げます。充実した「平成最後の夏」をお過ごしください。～

「所長より」 最近の研究所の出来事をお知らせします

今回は、サイエンスラボでの出来事を2つ、お知らせします

実験配信 ～メダカの卵の観察～

日時：平成30年6月8日（金）10:45～11:30

会場、参加者：上文殊小学校、5年生（4名）

子どもたちは学校でメダカの卵をルーペで観察しスケッチしていますが、サイエンスラボの高倍率の顕微鏡で観察した映像を見ることで、より詳しく卵の中の構造や日ごとに変化する卵の様子を学習しました。また、卵の中で心臓が動いていたり血液が流れていたりする様子を見て感動するとともに、生命の神秘や尊さを感じ取っていました。



共同課題研究全体協議会

日時：平成30年6月10日（日）9:30～12:00

会場：サイエンスラボ

参加者：藤島高校（2名） 武生高校（3名）

仁愛女子高校（2名）

アドバイザー：

福井大学教育学部准教授 三浦 麻 氏

福井陸水生物研究会員 安達 誘 氏

本年度の共同課題研究参加グループが集まる最初の全体会で、共同課題研究の概要や各グループの研究テーマ発表、サイエンスラボの分析機器説明、アドバイザーの先生との相談会などを行いました。今後は、サイエンスラボを利用した試料分析や、グループ同士の情報交換などを通して、8月の中間発表会、2月の研究発表会に向けて研究を進めていきます。

【これからの研修開催予定（～7月中旬まで）】

7月3日（金）教科別研修Ⅲ 高等学校数学科「数学的活動の充実による授業改善」

教科別研修Ⅲ 高等学校芸術科書道「生徒に分かりやすい篆刻指導法～プロの技をつかめ～」

6日（金）教科別研修Ⅲ 中学校音楽科・高等学校芸術科音楽

「実践して学ぶ!!これからの歌唱に必要な資質・能力」

教科別研修Ⅲ 中学校音楽科・高等学校芸術科音楽

「育成を目指す資質・能力を明確にした授業デザイン」

12日（木）幼稚園・幼保認定型子ども園新規採用教員研修

「教職員のメンタルヘルス」「課題の把握と解決に向けて」「運動遊びの工夫」

～紫陽花の花が長雨に濡れたり、暑い日差しのもとできらきらと咲いたりしています。

夏はそこまで来ています。体調管理にお気を付けください。～

「所長より」 最近の研究所の出来事をお知らせします

平成 30 年 6 月 8 日（金）新任校長研修を開催しました

甲南女子大学 村川雅弘教授に「カリキュラムマネジメントによる学校改革」について御講義をいただいた後、「カリキュラムマネジメント検討用シート」を用いて自校のカリキュラムマネジメントに関わる実践について自己分析しました。そして2～3人でグループになり、お互いにアドバイスしていました。

〈受講者の声〉

学校教育目標はいつの時代にあっても、幸福な人生を実現させるための力をつけることと社会の発展に貢献できる人材の育成であると考えますが、時代に合わせた力と貢献の仕方が変わる。そのためのカリキュラムマネジメントが必要であることを学びました。

時代を見据えて子どもの実態をしっかり分析し、カリキュラムを見直し、子どもの力を伸ばさなければならないと考えました。



子どもたちに「自立」の力をつけるためには子ども自身にカリキュラムマネジメントの力をつけていく必要を感じました。カリマネは、管理職や教務主任だけのものではなく、学級担任をはじめとする職員、子ども自身にも必要な能力であるという意識に変えていかなければならないと思いました。

校内研修の方法や内容の改善を図っていきたいと思います。年度当初に、学校が目指す姿や方策を校長として職員に明示しましたが、すべての職員に共有されていたか、疑問が残ります。この研修で紹介されたワークショップ形式で、職員の意見を交流し集約する場をつくとよかったと感じたので、今後検討していきたいです。



【これからの研修開催予定（～6月末まで）】

- | | | |
|--------------|------------|---|
| 6月 20 日（水） | 遠隔型研修 | 中学校社会科「見方・考え方を磨き社会認識を深める授業づくり」 |
| 22 日（金） | 教科別研修Ⅲ | 中学校社会科「社会科の主体的・対話的で深い学び」 |
| 25 日（月） | 教科別研修Ⅲ | 高等学校理科物理「生徒実験を授業にどう生かすのか」 |
| 27、29 日（水・金） | 教科別研修Ⅲ | 中学校技術・産業教育研修講座「プログラミング学習で育成する課題解決力と協働力」 |
| 28 日（木） | 初任者研修（中学校） | 「特別支援教育・部活動」 |

～いよいよ梅雨の時期となります。夏までもう一踏ん張りです。体調管理にお気を付け下さい。～

時代の流れに合う教育を考えていかないといけないと実感しました。教育改革がたくさん行われているので、社会情勢をしっかりと把握し、スキルアップをしていきたいです。



ファシリテーターが与える影響はとても強いということが印象に残りました。居心地の良い場を与えられるファシリテーターになりたいし、そういう生徒を育てたいです。

平成30年5月15日（火）～17日（木）中堅教諭等資質向上研修を開催しました。

3日間で総勢400人を超える教員が集まり、これからの教育に欠かせないファシリテーションやICT機器の効果的な使い方について学びました。学校運営の中核的な役割を果たすことが期待される中堅教諭として、学び続け、自己のさらなる成長を図ることを期待しています。

【これからの研修開催予定（～6月中旬まで）】

6月5日（火）臨時任用講師研修「学習指導の基礎（模擬授業）」

8日（金）新任校長研修「学校組織マネジメント」

12日（火）初任者研修（小中）学級経営

14日（木）初任者研修（高特）福井商業高校にて

15日（金）幼稚園・幼保連携型認定子ども園新規採用教員研修

「幼児期に起こりやすい事故の予防と手当」「幼児期の食育」

～新緑の5月から梅雨へ。蒸し暑い日も増えてきます。体調管理にお気を付け下さい。～